



◆◆◆インフルエンザ予防接種のご予約◆◆◆

予約開始・・・10月10日（火）
接種開始・・・10月12日（木）

接種回数 13歳未満は2回接種が理想です。
接種間隔 2～4週間

接種料金 3歳未満 →3500円
3歳以上 →3850円

【2回接種】10月開始の方 → 4週間以上あける
11月開始の方 → 2週間あける
【1回接種】11月以後がオススメです



予防接種の条件

- ・1週間以内に発熱がないこと
- ・2ヶ月以内にけいれんがないこと。
- ・ご家族の方で体調悪い方がいないこと。
- ・1週間以内に他のワクチン接種をしていないこと。
- ・コロナに感染した場合は解除日から2週間あけてください

当日は午前中は11時・午後は17時まで母子手帳と記入済みの予診票をご持参のうえお子様と一緒にご来院ください！！

インフルエンザの予約について

① 患者登録をしていただけます。診察券番号のある方・ない方どちらか該当する方から個人情報の登録を行ってください

② 予約より希望日を選択します。時間は午前か午後か選ぶことができます

※キャンセルは患者様自身で必ず当日中にインターネットからキャンセルをお願いします。



※コロナワクチンとインフルエンザワクチンは同時接種可能です。

母乳ストライキ

今まで頻りに飲んでいたので急に哺乳するのを拒否する現象をいいます。この様な時は児の機嫌は悪く、離乳食もあまり食べない事が多いものです。無理に母乳を飲ませようとするよりも児が眠たい時や少し眠りかかっている時に授乳するほうが効果的です。また、肌と肌のふれあいを増やしたりしてみてください。普通は2～4日で治りますが1週間くらい続くこともあります。

母乳生産を維持し母乳トラブルを予防するために搾乳を行いコップやスプーンで与えるようにしてみてください。

また母乳を飲んでくれる様になりますので焦らずに待つ様に励みます。



Manna & Baby どもクリニック
〒814-0123 福岡市城南区长尾4-6-17 TEL : 092-866-8800 小児科・アレルギー科 専門医
<http://mannaandbaby.or.jp/>

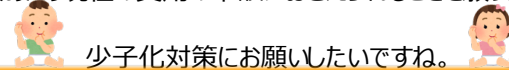
『お腹を痛めた子』出産の痛みへの意識はいま・・・

無痛分娩への賛成は8割超でも現場での実施率は1割以下にとどまるわけ
麻酔によって出産の痛みを緩和する「無痛分娩」。欧米では一般的な出産方法になっている国もあるなか日本での実施率は8.6%にとどまっています。

出産の痛みを麻酔によって緩和する「無痛分娩」
背中から腰の脊髄の近くにカテーテルを入れる硬膜外麻酔が主流で必ずしも出産の痛みが完全になくなるわけではないが痛みを弱めることができる。麻酔の副作用によるリスクはゼロではないものの海外では出産方法の一つとして一般的な国もある。

現在SNSでも無痛分娩の事をとりあげているような意見がある様です。
「無痛分娩はずい」「出産は自然の方がいい」「出産は女性だけが経験できる貴重な痛み」
「無痛分娩は“逃げ”でも“甘え”でもなく女性の権利であり選択肢の一つ」
無痛分娩は決して簡単な技術ではないし合併症などのリスクもあるが専門的な知識を持つ医師が適切に実施すれば安全に実施できる効果やリスクを正しく理解した上で選択してほしいと思います。

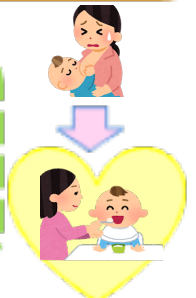
無痛分娩への賛成が8割を超えているのに日本では実施率1割以下の理由とは・・・
そこには医療体制と費用の問題があると思われます。通常の出産費用の約50万円に加えて無痛分娩の場合は10万～15万円ほど余計にかかります。
又、無痛分娩ができる麻酔科医が不足していることも原因です。
個人クリニックの産院での現状でもいつ始まるかわからないお産に待機できる麻酔科医の費用を考えると難しい現状なのかもしれません。
お産の費用が一人あたり現在の費用の半額におさえられることを願うばかりです。



少子化対策をお願いしたいですね。

<原因として考えられるもの>

- ・歯が生えてきた ・風邪をひいて喉の痛みや鼻づまりがある ・耳に炎症がある
- ・母親が落ちこんでいたり心配事があつたりする ・授乳が苦痛になることがあった
- ・断乳をしようとした ・おしゃぶりの使用や親指を吸う様になった
- ・授乳の仕方が変わった ・哺乳瓶を使い始めた ・人に預けたまたはあずけようと迷っている



「診療時間」月曜・火曜・木曜・金曜：9時～12時、14時～18時（17時30分受付終了） 予防接種専門外来：14時～15時
水曜：9時～12時、土曜：9時～13時
健康診断（4か月・10か月）：月曜・火曜・水曜・木曜・金曜（予約制）

